



まとめの3学期、準備の3学期

校長 松井克仁

3学期が始まって約1か月が経ちます。3学期は1学期や2学期と比べて期間が短く、学校へ登校する日数は53日（6年生は52日）です（因みに、1学期69日、2学期は83日です）。一番短い学期ですが、一番大切な学期だと考えています。

それは、1年のまとめの学期であると同時に、次の学年の準備をする学期だからです。「有終の美」ということわざがあるように、最後までしっかりとやり通し、立派な姿で終わること、で、「やりきった!」という達成感と自信がもてます。また、サッカーボールを蹴って遠くへ飛ばすためには助走が必要のように、3学期のうちに次の学年の準備（心構え）をしっかりとしておくことで、スムーズに新学期がスタートできます。

このように、どの子も自分の成長を実感し、自信と希望をもって次の学年に進めるような3学期にしてほしいと願っています。



【6年生の書き初め作品】

とものわグループでの8の字跳び大会

明智小学校では、異学年同士のかかわりを生み出すために、年間を通して学年を縦割りにした異学年交流活動「とものわ」を行っています。とものわでは、これまでドッジボール等の遊びをしながら互いの仲を深めてきました。この活動を通して、高学年には下級生に声をかけたり、心配りをしたりするなどリーダーとしての資質を育むこと、また下級生には上級生の指示をよく聞いて行動することで、集団性を身に付けたり上級生へのあこがれをもったりするなどの姿を期待しています。

2学期の終わり頃から、「8の字跳び」にチャレンジしてきました。取組を始めたころは、当然ですが低学年の子はあまり上手に跳べず、縄に引っかかることも多かったのですが、練習を繰り返すうちに少しずつ上手になり、引っかからずに跳んだり、前の子に続いて連続で跳んだりできるようになってきました。また、「ナイス!」「ドンマイ!」などの励ましの声もたくさん飛び交うようになってきました。

25日（木）には、全校で「8の字跳び大会」を行いました。大会のスローガンは「全員が頑張ったと思える8の字跳び大会～努力・声かけ・挑戦～」です。3分間に跳んだ合計回数がそのグループの記録となります。表彰内容として、記録が多い上位3位までの他に、「たくさん声をかけたで賞」「たくさん練習していたで賞」「回数が伸びたで賞」「上手に縄を回していたで賞」の4つを設けました。大会当日は、どのグループも練習の成果を発揮し、回数を増やそうと一生懸命に頑張りました。いつにもまして「ハイ!ハイ!」や「ドンマイ!」等、声をかけ合う姿が見られました。取組期間が短く十分な練習ができなかったかもしれませんが、回数を伸ばそうと率先して大きな声をかけたり、上手に跳べるように跳び方をアドバイスしたりする6年生の姿がとても素敵でした。さすが全校のリーダー。頼もしいです。



【とものわグループでの8の字跳び】